

MAZDA



2026年4月2日

「MAZDA EZ-6 / MAZDA6e」が 2026年「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」を受賞 —マツダ車の受賞は2020年の「MAZDA3」以来3度目—

ワールド・カー・アワーズ(以下、WCA)が主催する2026年「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」において、マツダ株式会社(以下、マツダ)の「MAZDA EZ-6 / MAZDA6e」が特別賞の一つである2026年「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」(以下、WCDOTY)を受賞しました。マツダのモデルが同賞を受賞するのは2016年の「MAZDA ROADSTER」(海外名:MAZDA MX-5)、2020年の「MAZDA3」以来、3度目となります。

同賞は、2004年に世界各国の自動車ジャーナリストによって創設された自動車賞です。2026年は、90台の審査対象の車両の中から、98名の自動車ジャーナリストの投票によって選ばれ、最終結果は、アメリカ・ニューヨーク現地時間4月1日にWCAから発表されました。



MAZDA 6e (欧州仕様)

「MAZDA EZ-6 / MAZDA6e」は、マツダの電動化への新たな挑戦となるモデルとして、これまで築いてきたマツダらしいデザインの継承と革新に挑みました。デザインテーマ「魂動(こどう) – Soul of Motion」のもと、「Authentic Modern(オーセンティック・モダン)」をコンセプトに、生命感あふれる造形と、電動車に相応しい先進性のあるモダンさを兼ね備えたデザインとしながら、美しいクーペフォルムを実現しています。人の手による彫刻的な造形や精緻なクラフトマンシップを通じて、電動化の時代においても移動する喜びや感動を感じていただけるデザインにこだわりました。

「MAZDA EZ-6」は、マツダならではのデザインと人馬一体の走行性能に、協業パートナー¹が有する電動技術やスマート技術を組み合わせた電動車で、2024年10月に中国で発売されました。同モデルをベースに走行性能や機能性などを各市場に合わせて造り込んだ「MAZDA6e」は、2025年9月から欧州で販売を開始しており、さらに2026年には豪州、ASEANなどへの導入を予定し、各市場のバッテリーEV需要に応じていきます。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る歓び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる歓び」をお届けしていくことを目指してまいります。

以 上

*1 重慶長安汽車股份有限公司。